

# みんなの願い

## 「保険で良い歯科医療を」

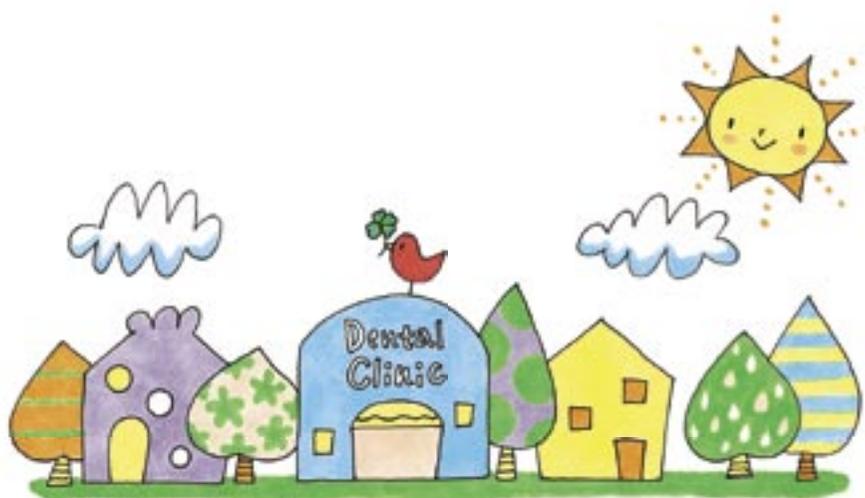
歯科医療に関する  
患者アンケート結果  
から



# 目次

---

お読みくださる皆さんへ .....	3
1. 健康保険のきかない歯科治療に 7割が「反対」 .....	4
患者さんの声 .....	5
2. 新しい治療技術・材料を保険に入れることに 8割以上が「賛成」 .....	6
患者さんの声 .....	7
3. 健康保険の歯科治療の制限に 9割が「反対」 .....	8
新聞投書欄より .....	9
4. 海外からの「入れ歯」輸入に 8割以上が「反対」 .....	10
患者さんの声／日本の歯科技工士が減少 .....	11
5. 調査の概要 .....	12
6. 私たちの願い .....	14
7. 「保険で良い歯科医療を」全国連絡会とは .....	15



## ●お読みくださる皆さんへ●

私たち「保険で良い歯科医療を」全国連絡会は、歯科医療を受ける患者さんと歯科医療担当者が協力して、健康保険で良質な歯科医療の実現をめざしている団体です。

私たちは、現状の「健康保険のきかない歯科治療」に対する患者・国民の意見や要望を知る目的で全国5000人を対象に2008年10月にアンケート調査を行いました。

私たちは、調査結果に示された「保険のきかない歯科治療」はなくしてほしいという患者さんの要望を、多くの国民、歯科医療担当者に知っていただき、保険で良質な歯科医療の実現に向けた声を大きく広げていくためにアンケート結果をパンフレットにまとめました。

ぜひ多くの方にお読みいただき、歯科医療制度の改善を求める本会の活動へのご理解とご協力をいただければ幸いです。



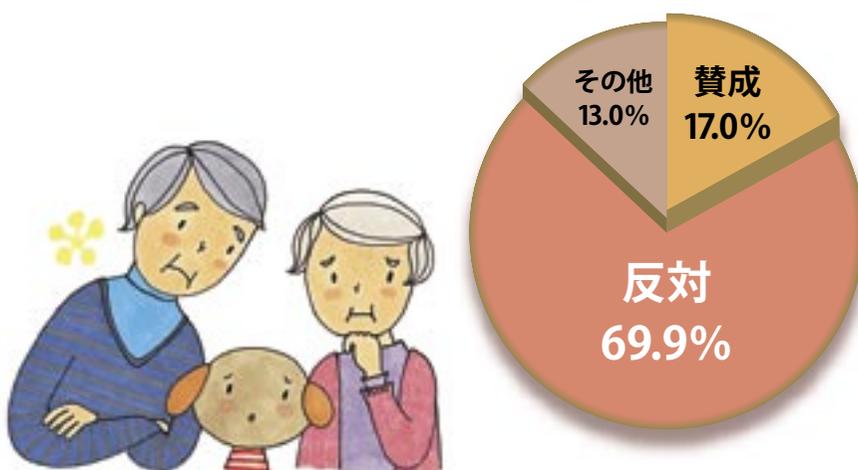
## 1 健康保険のきかない歯科治療に

### 7割が「反対」

日常の治療でも健康保険のきかない治療が多い歯科医療についての質問では、「健康保険のきかない歯科治療」に対して「賛成」17%、「反対」69.9%と7割の患者さんが保険のきかない歯科治療に「反対」との意思を示しています。

年齢別でも20歳代から80歳代までの全ての年齢層で「反対」の意見が過半数となっています。特に60歳代では75.1%、70歳代では74%と高齢者ほどこの傾向が強くなっています。

このことは、「入れ歯」使用が増加する高齢者の多くが、健康保険が適用されない自費の「入れ歯」(金属床義歯)等がある現状に、不満が強いことをあらわしていると考えられます。



年齢	賛成	反対
30歳未満	24.6%	59.6%
31～40歳	25.6%	63.2%
41～50歳	15.9%	66.5%
51～60歳	19.1%	69.9%
<b>61～70歳</b>	12.9%	<b>75.1%</b>
<b>71～80歳</b>	13.2%	<b>74.0%</b>
81歳以上	18.8%	68.8%

## 患者さんの声

- 昔から歯科は保険のきかないものがあり、歯科に行くのに足がとまってしまう時がありました。できるかぎり保険でやってほしいと思います。(60歳・女性)
- 現在、歯の治療をしていますがお金がかかり本当に大変です。もっと保険で治療できる枠を広げてください。(64歳・女性)
- 歯は保険のきかない治療が普通になっていますが、それはダメです。(61歳・女性)
- 歯科は保険がきかないというイメージがあります。どうして、全部保険でちゃんとできないのですか。(30歳・女性)
- 保険でできる範囲をふやしてほしい。(59歳・男性)
- 口の健康は、体全体の健康の基です。歯の治療は全部保険にすべきです。(79歳・男性)

歯並びの治療も保険でできたら、嬉しく思います。(60歳・女性)

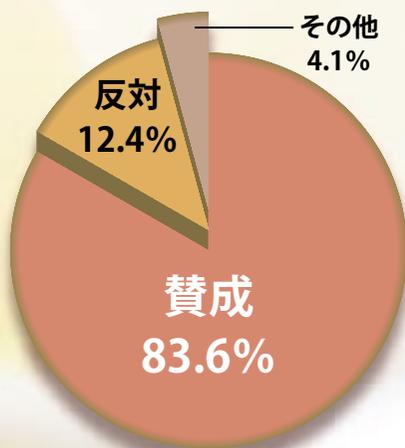


## 2 歯科で新しい治療技術・材料を

### 保険に入れることに 8 割以上が「賛成」

現在は、健康保険のきかない歯科治療と新しい治療技術・材料を、保険に取り入れることについては、「賛成」83.6%、「反対」12.4%と8割を超える患者が保険に取り入れることを望んでいます。

こうした患者さんの意見は、癌の治療薬などの最先端の治療技術・薬の保険給付と異なり、歯科では一般的な日常の治療においても、健康保険のきく治療技術・材料の拡大がすすんでいないことを反映したものといえます。



---

## 患者さんの声

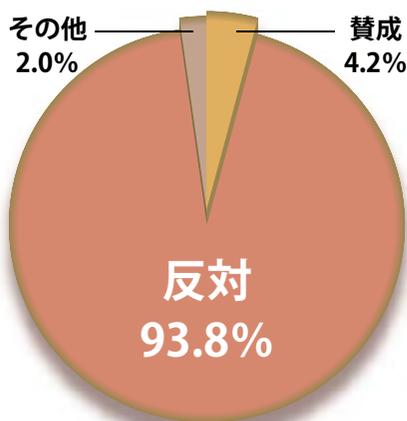
- 歯の治療もきれいに白い歯であり目立たない治療もすすんでいます。もう少し手ごろの値段で治療できればいいと思います。(52歳・女性)
- 保険でセラミック治療ができることを望みます。白い歯を入れるのは国民の権利だと思います。(51歳・男性)
- 家族がチタン製入れ歯を作りましたが、保険外治療費 30 万円でした。チタンは珍しい金属でなく何故保険外なのか。必要かつ便利なものは保険適用して欲しい。(68歳・男性)
- 今、歯で悩んでいます。100万円位かかると言われました。全て保険が適用できるようにしてほしいです。(66歳・女性)
- インプラント治療をしていますが、健康保険でできるようにして欲しいと思います。(60歳・女性)



### 3 健康保険の歯科治療の制限に

#### 9割が「反対」

政府は医療費を削減するため、歯科ではさらに「健康保険のきかない」治療を増やそうとしていますが、こうした「健康保険のきく歯科治療を制限することについて」は、「反対」93.8%、「賛成」4.2%と9割以上の患者さんが反対しています。



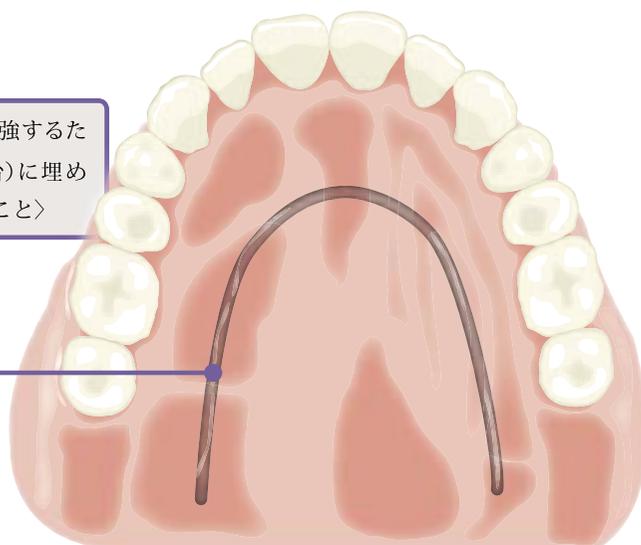
政府は入れ歯などの保険治療・材料をこれまで以上に制限し、患者さんの自費負担にしようとしています。

歯科ではこれまでも、変色した無髄歯を白くする治療、入れ歯の強度を保つために必要な補強線(\*)、歯周病の治療後の再発予防などの管理（メンテナンス）などが保険給付から外され、患者さんの自費負担とされたり、歯科医院の持ち出しとされています。

しかし、大多数の患者さんは健康保険の治療制限には、強い反対の意思を示しています。

(\*)

**補強線** <入れ歯を補強するために入れ歯の床(土台)に埋め込まれるワイヤーのこと>



## 新聞投書欄より

### 「歯の治療失敗 かさむ医療費」

(80歳、仙台市・主婦)

下あごの入れ歯が中央から真っ二つに割れた。歯科医院で受診した。新しい入れ歯を作ってくれるのかと思ったら「くっつけます」と言う。何もためらわず快諾した。

2～3日は具合がよかったが、4日目にくっつけたところがまた割れた。今度こそ新入れ歯を作るのかと思って再受診したが、再度くっつけた。

何とくっつけては割れ、くっつけては割れを4回も繰り返した。辛抱強い私も疑心暗鬼になり、あきれ果てた。医師はやっと新しい入れ歯作りに踏み切った。

これで安心と思ったのが甘かった。新しい入れ歯にして20日目に、また同じところで割れた。

私は計5回も治療費を請求されて、医師への信頼感がゼロになった。……後略

### 「入れ歯の破損 補強線で防止」

(61歳、仙台市・歯科医)

「歯の治療失敗 かさむ医療費」を読みました。食べることは生命のもとですので大変お困りのことと思います。

私の医院でも入れ歯が折れて、受診される方が最近増えております。本来は、あごの状態、かみ合わせの状態により入れ歯の中に破折防止の金

属線(補強線)を入れることが必要です。

しかし、なぜか厚生労働省は、数年前に保険診療の技術の中から削除してしまい、歯科医師が自己負担で金属線を入れてあげても、保険当局から「国が決めた通り、そういう治療の技術や材料代は支払いませんよ」と言われて悩む毎日です。……後略



## 4 海外からの「入れ歯」輸入に

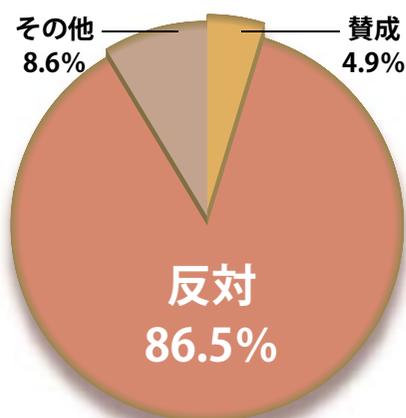
### 8割以上が「反対」

最近、入れ歯や歯のかぶせ物など歯科の「補綴物」が中国などから輸入されています。輸入した入れ歯等は健康保険の対象外（自費扱い）ですが、厚生労働省は歯科医師個人の責任で輸入することを認めています。

しかし、海外からの入れ歯等の輸入に対しては、「反対」86.5%、「賛成」4.9%と大多数の患者さんが反対の意思を表しています。

アンケートに寄せられた声からは、入れ歯は長期にわたり口中にあるため、中国などからの輸入について「安全性」への不安が共通して指摘されています。

こうした患者さんの不安を解消し、健康被害などを防ぐためにも厚労省の責任ある対応が求められます。



### 厚生労働省の調査でも問題点が

海外に発注した補綴物の問題発生の有無について「ある」が17.3%あり、内容は、

**装着後の破損修理が「度々ある」34.6%**

**設計・デザインの不良が「度々ある」30.8%**

**適合不良が「度々ある」50%**

(歯科補綴物の多国間流通に関する調査研究より)

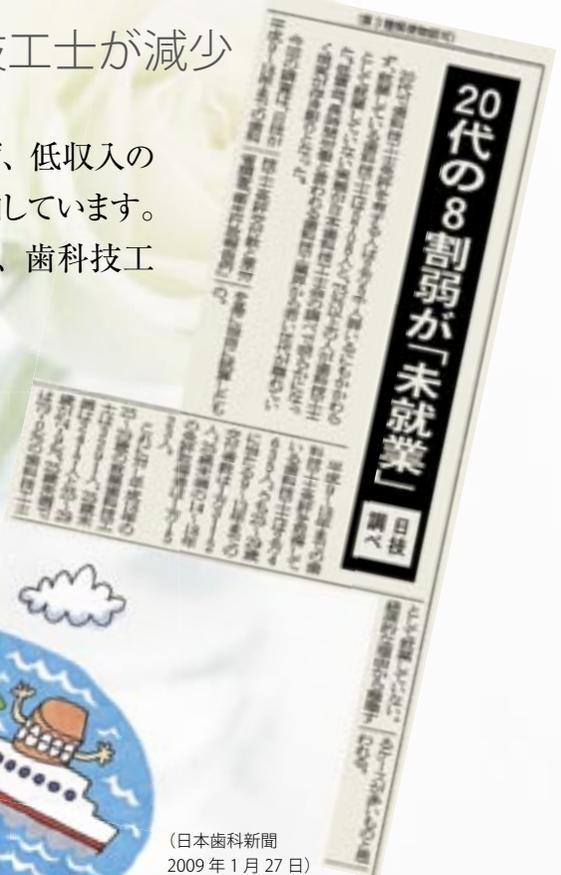


## 患者さんの声

- 海外で作るものは安全なんですか?どうして国内でできないのですか。医療用の器具、補装具というような認識はないのですか。(29歳・男性)
- 海外から入れ歯を輸入するのは問題だ。国の制度として禁止すべきだ。(48歳・男性)
- 外国からの輸入、特に中国等現在、食品の安全性が大問題になっています。歯についても全く食品と同様であり、安全性の保障が確立されていない限り輸入品には反対。(69歳・男性)

## 日本の歯科技工士が減少

いま、長時間労働にもかかわらず、低収入のため、歯科技工士の離職が増加しています。このままでは保険の入れ歯を作る、歯科技工士がいなくなってしまう。



(日本歯科新聞  
2009年1月27日)

## 5 調査の概要

### 1. 調査の対象、調査方法

本会に所属する日本生活協同組合連合会医療部会、全日本民主医療機関連合会、全国保険医団体連合会の歯科医療機関に受診した患者、「歯科医療を良くする」千葉県連絡会の会員、「保険で良い歯を」東京連絡会、「保険でより良い歯科医療を」愛知連絡会の会員を主な対象として、調査用紙（往復はがき）を配布し、調査用紙に患者が直接記載した上で返送する方法で実施。

### 2. 調査時期

2008年10月。

### 3. 回答結果と特徴——各ページに掲載。



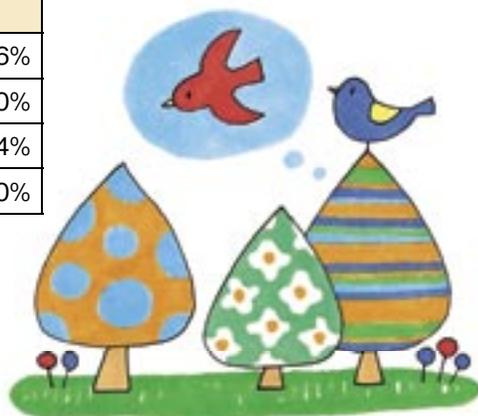
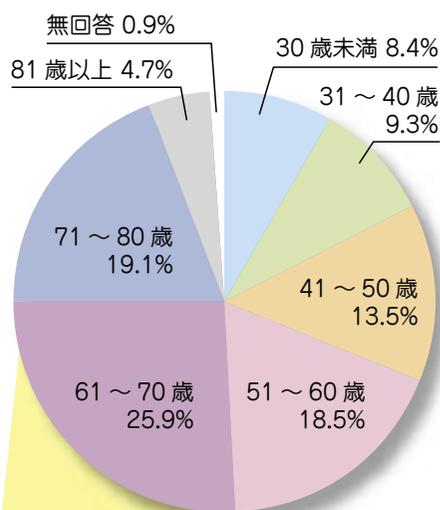
## 5. 調査、回収数

5000枚の調査用紙を配布し、1351枚、27%の回収率となった。  
 なお、男女比では男性41.6%、女性56%と女性の回答が過半数を超えた。

発送数	回収数	%
5,000	1,351	27.0%

年齢	件数	%
30歳未満	114	8.4%
31~40歳	125	9.3%
41~50歳	182	13.5%
51~60歳	246	18.5%
61~70歳	350	25.9%
71~80歳	258	19.1%
81歳以上	64	4.7%
無回答	12	0.9%
計	1,351	100%

性別	件数	%
男性	562	41.6%
女性	757	56.0%
無回答	32	2.4%
計	1,351	100%



## 6 私たちの願い

歯科にかかるとき、保険で治療が受けられるかどうか不安を感じる患者さんは多いのではないのでしょうか。風邪や腹痛など一般医療では、ほとんどが保険で治療が受けられるのに、歯科ではどうして受けられないのでしょうか。その原因は、歯科の病気が「いのちに直接影響しない」という国の考え方が長年続いてきたことから、歯科の保険治療には、さまざまな制限が加えられてきたためです。

しかし、例えば、口の中を清潔に保つ口腔ケアが高齢者の死亡原因の一つである誤嚥性肺炎を防いだり、糖尿病の状態の悪い人は歯周病を併発していることが多いなど、口腔の健康と全身の健康が深く関わっていることが分かってきています。

歯の健康は、全身の健康の維持向上や QOL にとっても非常に重要です。  
(\*)

私たちはこうした歯科の不十分な現状を改善し、「いつでも、どこでも、だれでも」お金の心配がなく「保険で良い歯科医療」が受けられることを願い、その実現を求めて活動しています。

(\*)

QOL=Quality of Life (クオリティ・オブ・ライフ = 生活の質の向上の略語) QOLの向上とは患者の日常生活をどれだけ苦痛の少ないものにするかという意味で用いる。

## 7 「保険で良い歯科医療を」全国連絡会とは

私たち「保険で良い歯科医療を」全国連絡会は、歯科医療を受ける患者さんと歯科医療担当者が協力して、健康保険で良質な歯科医療の実現をめざしている団体です。

以下の団体および個人で構成されています。

- 日本生活協同組合連合会医療部会
- 全日本民主医療機関連合会
- 全国保険医団体連合会
- 「保険で良い歯を」東京連絡会
- 「歯科医療を良くする」千葉県連絡会
- 「保険でより良い歯科医療を」愛知連絡会
- 「保険でより良い歯科医療を」長野連絡会



A background image of several yellow tulips with green stems and leaves, arranged in a cluster. The flowers are in various stages of bloom, some fully open and some as buds. The overall tone is soft and natural.

# みんなの願い

## 「保険で良い歯科医療を」

—歯科医療に関する患者アンケート結果から—

発行：「保険で良い歯科医療を」全国連絡会  
全国保険医団体連合会

東京都渋谷区代々木 2-5-5 新宿農協会館 6F  
電話：03-3375-5121(代) FAX：03-3375-1862  
発行日：2009年7月 頒価：50円(送料別)